

令和5年度 第2回公民館運営審議会
議事録（議事要旨）

1 開催日時 令和5年9月12日（火） 午後2時30分開始

2 開催場所 高洲公民館 研修室

3 出席者

[委員]

勝田委員（委員長）、谷口委員（副委員長）、佐々木委員、柗委員、坂本委員、長島委員、大川委員、泉澤委員、林委員、阿部委員（欠席者：2名）

[事務局]

教育長、教育次長、生涯学習部長、生涯学習部次長（高洲公民館長事務取扱）、中央公民館長、堀江公民館長、富岡公民館長、美浜公民館長、当代島公民館主査、日の出公民館長
高洲公民館職員3名

4 傍聴者 1名

5 議事

（1）報告事項

公民館主催事業（4月～6月）実施状況

（2）審議事項

公民館主催事業（10月～12月）開催計画

（3）その他

6 会議経過

開 会

9月1日付けで委員の改選があったことから、互選で委員長と副委員長を選出した。委員長に勝田委員が、副委員長に谷口委員が選出された。

（1）報告事項

公民館主催事業（4月～6月）実施状況について、各委員からの意見や質問の概要は以下のとおり。

委 員 高洲公民館と富岡公民館で実施されている「野菜づくり」講座について、実施回数が近いにも関わらず、参加者数が大幅に乖離している理由を伺いたい。

事 務 局 採用した数字が、参加者数と各回の合計で異なっているためである。今後は統一化を図りたい。

（2）審議事項

公民館主催事業（10月～12月）開催計画について、事務局から資料に基づいて説明をした後、各委員からなされた意見や質問の概要は以下のとおり。

委 員 美浜公民館と当代島公民館で申込先着順の講座がある。ハガキ申込とネット申込ではタイムラグがあり公平感に疑問が生じるが、先着順とした理由と申込媒体の現状について伺いたい。

事務局 ご意見を踏まえ、申込多数の場合は抽選としたり、定員を多少超過しても受け入れるなどの工夫をして実施していきたい。これまでは、講座の対象年齢により申込媒体を分けていた。昨今は、高齢者へのスマホ普及に伴い、すべての講座にネット申込を採用しており、この割合が多い状況となっている。

委員 社会教育法の規定からは、公民館運営審議会の審議は主催事業のみを対象としていると解釈できる。公民館には施設利用など、他にもさまざまな側面があるが、審議の対象について確認したい。

事務局 公民館運営審議会は館長の諮問機関の位置づけとなるため、館長（事務局）の諮問に応じ、多面的に公民館運営について議論いただきたいと考えている。

委員 参加者としては、講座の選択肢が多いほうが楽しめると思う。事業数が、4月～6月と比較し10月～12月は少ないが、理由を伺いたい。

事務局 年度を通して実施するシリーズの事業については、4月～6月（年度当初）に掲載するため、相対的にこの期間の数が増加することとなる。

委員 7月分から公民館情報紙「ルネサンス」が紙媒体でなく「デジタルルネサンス」での発行となった。高齢者への対応に疑問があり、紙媒体の発行も必要ではないかと考えている。併せて、次の発行時期についても伺いたい。

委員 「ルネサンス」の情報は公民館ごとか、全公民館分として掲載されているか伺う。また、電子媒体をお持ちでない方にはどのように対応するのか。

事務局 次の「ルネサンス」の発行は9月末を予定しており、全公民館分の情報を掲載している。電子媒体をお持ちでない方には、公民館窓口でデータを印刷してお渡しすることで対応する。

ペーパーレスやデジタル化、高齢者へのスマホ普及等の社会動向や、市全体の考えも踏まえて公民館情報紙は「デジタルルネサンス」として発行することとした。また生涯学習施設における情報も、生涯学習情報システム「まなびネット」を含めて全体として広報の拡充を図っている。そのなかで、公民館主催事業においては高齢者向けのスマホ講座を定期開催し、公民館情報の閲覧や講座申込についても習得いただけるよう取り組んでいく。

委員 講座の周知方法については、対象年齢の方の利用頻度が高い公共施設に、該当する講座のチラシを配架する方法も有効であると思う。

委員 高齢者向けのスマホ講座で「デジタルルネサンス」の閲覧を講義することは有効と思う。子どもたちにとって公民館は身近な場所という印象があるため、講座ごと参加者の居住地をリサーチし、参加者が多い地域の学校などに重点的に広報してはどうか。

委員 世代ごとや、公民館ごとの告知があっても良いと思う。これまで公民館 Twitter の利用促進について何度か意見をしたが、昨今は活用が進み、とても活動的な印象を受ける。今後は講座の開催状況に加えて、施設の特徴を紹介すると、利用経験がない人も親近感のある投稿になるのではないかと。また職員の窓口対応について、施設の構造により差が生じると思うが、閉鎖的で一部に改善が必要と感じる場面が見受けられた。

委員 情報媒体は、紙、スマホ、口コミのそれぞれに利点がある。自身が高齢者で

あり、スマホもある程度使えるため、今後は講座を通してインスタグラム等についても学んでみたい。

委員 以前は夕方以降に実施している講座があったが、今回は仕事をしている市民を念頭とした講座が少ないと感じる。地域の拠点として、若い世代の利用や交流の促進を図るため、実施時間についてもご検討いただきたい。

事務局 講座については終了後、アンケートをとって居住地等を把握している。頂戴した意見を参考に、広報や講座の実施時間も含めて、より良い公民館運営を行っていきたい。

委員 中央公民館の小中学生を対象とした2つの講座については、対象が各1校だと推察するが、対象の学校が決定した経緯について伺いたい。

事務局 今回の講座は浦安小学校の5年生と、東小学校の6年生がそれぞれ対象となる。講座実施までの経緯は、まずは公民館から市内の各学校に、学校連携として公民館で提供可能な講座のメニューをご案内している。その後、学校内で検討してもらい、依頼があった学校（学年）を対象に実施しているもの。

(3) その他

次回の第3回公民館運営審議会は、令和5年12月8日（金）に高洲公民館で実施することを確認し閉会。

(閉会：午後3時40分)